

あなたがいて、わたし、がある。

ゆうあい

2

FEBRUARY 2023

vol. 565



駒ヶ岳裾野から望む朝陽とゆうあい人形

特集

祝成人・祝還暦
新型コロナ、これからどうなる!?

2月号 令和5年2月1日発行
発行日:偶数月1日/発行所:大塚公孝/発行所:社会福祉法人侑愛会(北海道北斗市追分7丁目8番9号)



<https://www.yuai.jp/>

社会福祉法人侑愛会



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp

防災等への取り組みについて

近年、毎年のように「数十年に一度」や「観測史上初」と表現されるような自然災害が発生し、日本各地に大きな被害をもたらしています。

ゆうあいが所在する道南でも昨年8月、記録的な大雨が発生したのは記憶に新しいところです。

私たち社会福祉施設には、従来の防火対策に加えて、こうした自然災害への対応策が必要とされます。

加えて感染症対策や防犯対策の取り組みも求められています。

今回の巻頭では、防災・防犯委員会の折目園長、災害対策委員会の小黒園長にお話を伺いました。

日付 1月21日(土) 場所 オンライン(今般感染状況を鑑みて対面取材を中止) 話し手 折目園長、小黒園長 聞き手 ゆうあい編集委員(櫻井、小谷)

防災・防犯委員会について教えてください

1 常置委員会の一つとして
防災・防犯委員会は、ゆうあいが設置する常置委員会の一つです。火災はもとより、地震や風水害などの自然災害、停電事故等に対する備えとその対応を目的としています。また、津久井やまゆり園事件※を受けて防犯対策にも取り組んでいます。委員会は、当別地区とそれ以外の地区に分かれて活動しています。

2 当別地区における役割について
私が担当する当別地区の役割をご紹介します。当別地区は「ゆうあいの郷」と呼ばれ、現在420名以上の利用者の方々が生活をしています。その生命と安全を守ることを目的に、自衛消防隊を組織しています。利用する方々の多くは、緊急時に自力で避難できない方々がほとんどです。とくに夜間は職員数が少なく、施設としての協力が欠かせません。



当別地区で毎年行われる合同災害訓練

災害対策委員会について教えてください

ことにもつながります。2月は、防災強化月間になっています。私の所属する新生園では、過去に火災で利用する方の尊い命が失われた事故※2があり、この痛ましい事故を風化させないためにも、くり返しの訓練で高い防災意識を保ち続けていく必要があると考えています。備蓄についてです。「ゆうあいの郷」は高台にあるため、非常災害の際に孤立する可能性があるため備蓄が必要です。平時から3日分の備蓄を確保するようにしています。また、当別地区には専用水道があります。停電時も非常用発電機の整備により水の確保は可能ですが、地震や河川の氾濫等によりそれが困難になる可能性があります。今後の課題の一つです。

折目

1 特別委員会として

平成30年度、激甚化する災害が年々増えることを受けて、特別委員会としての位置づけで災害対策委員会が設置されました。平成23年に発生した東日本大震災、また委員会設置の前年に発生した北海道胆振東部地震が契機となりました。それまで各事業所単位で取り組んできたことについて、法人をあげて横断的に対応していくことが目的です。

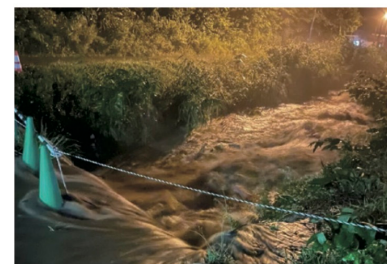
2 BCPについて

現在の委員会の、重要な取り組みは、令和6年度より義務化されるBCP(事業継続計画)の策定です。一部を除き、障害福祉サービスを提供する事業所は例外なく用意する必要があります。もし、非常災害など不測の事態が発生したとします。その対応や復旧が遅れてしまった場合、利用する方々はもちろんのこと、働く職員や関係者にも大きな影響は避けられません。BCPは、こうした非常時の事業中断や復旧の遅れを防ぎ、事業を継続するための計画です。自然災害だけではなく、新型コロナウイルスの集団感染発生時への対応も求められています。

3 多種多様なリスクに備えて

各種災害や犯罪、介護事故、感染症対応など、私たち社会福祉施設に求められる危機管理対策は多種多様となっています。ゆうあいは、これまでに教訓となるような多くの貴重な経験を重ねてきました。また、情報共有やコミュニケーションなどを円滑にするICTツールなども早くから導入し、スケールメリットを生かした連携を強化しています。昨年8月の大雨発生時も、各エリアの状況がすばやく正確に共有されました。その後の対応に生かされ、ゆうあいにも思いつく共助の精神を感じる一幕となりました。これからも、ますます重要となる災害対策に法人をあげて取り組んでまいります。

小黒



昨年8月の大雨ではグループホーム明和荘のすぐ側を流れる川が増水して危険な状態に

※1 津久井やまゆり園事件

平成28年7月26日(明)に発生した、元職員の男が入所者19人を刺殺し、入所者と職員合わせて26人に重軽傷を負わせた。

※2 新生園の火災事故

平成5年2月28日、同園の自立訓練(小舎青雲寮)で発生した火災により3名の利用者がお亡くなりになった。原因はフタからのお火であった。



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp

新型コロナウイルス、

これからどうなる!?

ゆうあいの感染発生状況について

この年末年始、ゆうあいでは複数の施設で集団感染が発生し、その対応に追われました。入所施設のみならず、グループホームや通所施設でも複数発生しました。なかには定員の90%以上のご利用者が感染するケースがあり、あらためてオミクロン株の感染力の強さを目の当たりにしました。ワクチン接種が進み、日々の対策や発生時対応に大切なことが分かってきたことは事実ですが、それでも社会福祉施設に感染が持ち込まれると、甚大なダメージを受ける可能性があることは今と以前と変わりがないように感じます。

5類へ引き下げへ

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけについて、国は今年5月に「5類」に移行する方針を決め、新型コロナウイルス社会への移行を鮮明にしました。新型コロナウイルスの感染者が国内で初めて確認されてから丸3年が経過しました。新しい生活様式はすでに日常となっており、マスクを外す日は本当にやってくるのでしょうか。「5類」になることで、何が変わるのか、何がかわらないのか。法人感染症対策本部の高橋先生（ゆうあい会石川診療所）に聞いてみました。

教えて！
高橋先生



世の中の流れはコロナとの共存に舵が切られていきます。しかし、社会福祉施設については、利用される方が自ら感染予防に努めることが困難なことも多く、一段厳密に考えたほうがいいでしょう。生活の質の保証と感染対策の両立は必ずしも容易ではありませんが、今後科学的根拠に基づいて客観的・総合的に判断していくべきと考えます。

欧米諸国と比べると、日本はこれまでロックダウンを避けつつ死亡率を低く抑えることに成功してきました。現在の政府内での議論を見ても、「5類」になつてすぐに季節型インフルエンザと同等の対応にするのではなく、医療費やワクチンの公費負担を当面は残すなど、国民のコンセンサスを得ながら段階的に移行していく可能性が高いのではないかと考えています。

流行初期に比べると重症化率はかなり下がっていますが、その要因の一つはワクチン接種だといわれています。国内外のデータの多くがワクチンの有効性を支持しています。若い人たちは重症化リスクが低いためワクチンの接種率も低くなりがちですが、重症化率自体が低くても感染者数が多ければ重症化する人の絶対数はそれだけ増加します。また、重症化リスクの高い人々を社会全体として守るという観点からも、ワクチン接種率の全体的な向上が望ましいと考えます。



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp



社会福祉法人侑愛会
学校法人ゆうあい学園
www.yuai.jp